

第35回国際神経精神薬理学会世界大会 会議説明書

- 1 会議名 和文名：第35回国際神経精神薬理学会世界大会
英文名：35th International College of Neuropsychopharmacology World Congress
(略称：CINP 2024)
- 2 主催 一般社団法人 日本神経精神薬理学会、日本学会会議 (予定)
協賛 日本臨床精神神経薬理学会
協力 東京観光財団、日本政府観光局
- 3 母体団体 和文名：国際神経精神薬理学会
英文名：The International College of Neuropsychopharmacology (CINP)

- 4 開催時期 2024年5月23日(木)～5月26日(日) [4日間]
[開催プログラム(予定)] ※以下のほか、特別企画を実施する予定である。

会議日程	午前	午後	夜
5月23日(木)	Welcome and Awards Ceremony	特別講演	ウェルカムセッション
5月24日(金)	シンポジウム	特別講演、ミニシンポジウム、ポスターセッション	
5月25日(土)	シンポジウム	特別講演、ミニシンポジウム、ポスターセッション	
5月26日(日)	シンポジウム	特別講演、ミニシンポジウム、ポスターセッション	

- 5 開催場所 東京国際フォーラム
(〒100-0005 東京都千代田区丸の内三丁目5番1号
/ TEL: 03-5221-9000(代表))

- 6 参加予定者数 53カ国・2,500人(国外:1,500人、国内:1,000人)

(参加予定国・地域)

アルバニア、オーストリア、ベルギー、ブラジル、ブルガリア、カナダ、中国、コンゴ、クロアチア、チェコ、エジプト、フィンランド、フランス、ドイツ、ギリシャ、ハンガリー、インド、イタリア、日本、カザフスタン、ケニア、韓国、ナイジェリア、ポーランド、ポルトガル、ルーマニア、ロシア、ルワンダ、セリビア、スロバキア、スロベニア、南アフリカ、スペイン、スウェーデン、スイス、タイ、トルコ、ウガンダ、イギリス、アメリカ、ウクライナ、インドネシア、オーストラリア、アラブ首長国連邦、イスラエル、オランダ、サウジアラビア、シンガポール、台湾、チリ、ノルウェー、ペルー、香港

以上、53カ国・地域

7 会議の意義・目的

第 35 回国際神経精神薬理学会世界大会（35th The International College of Neuropsychopharmacology (CINP) World Congress 2024: CINP2024）を開催し、世界各国から精神医学、薬理学、脳科学の研究者、臨床薬剤師等が一堂に会して、神経精神薬理学分野の基礎研究・臨床研究の推進や産官学連携の取り組みについて議論する。そして、日本神経精神薬理学会が推進する、日本における中枢神経薬の開発と適正使用に向けた取り組みを世界に発信する。

8 会議開催の経緯と概要

CINP 世界大会を日本（日本神経精神薬理学会）が担当するのは、1990 年京都で行われた本邦初開催以来 34 年ぶり、本学会が推進する取り組みを海外に発信する大きな機会である。近年、日本国内のみならず全世界的に精神疾患の多様化と増加が見られる中、その重要性は年々高まってきている。本大会は隔年で様々な国で行われてきたが、2021 年より毎年の開催となった。近年アジア圏での開催時に参加者数が増加し、盛況である傾向が強く、各国からのアクセスの良い東京での開催を計画しているため、過去の大会参加状況から考えても世界約 50 カ国、1,500 名を超える多くの海外専門家の参加が見込まれる。そのため、CINP2024 は日本国内において数多くの海外専門家らに情報を発信できる良い機会である。CINP 傘下学会である日本神経精神薬理学会が担当し、東京での初開催をすることが、2021 年 10 月 CINP 執行委員会において決定された。本学会理事である池田和隆が CINP2024 大会長に就任し、開催・運営に当たる。

母体国際学術団体の CINP では、年会費を世界銀行が提供する「Economy & Growth」の年次国別分類に従い 4 段階(\$40, \$80, \$120, \$150)に設定し、発展途上国を含めた幅広い国々からの加入を促している。また、役員半数は女性で有り、ジェンダーバランスに偏りが無い運営を行っている。さらに、Early Careers Committee や Education Committee を常設し、若手研究者への教育を進めると共に、若手研究助成制度や若手向けの学会賞を複数設け、積極的な研究活動を促している。CINP2024 においても、大会参加費を会員・非会員の分類のほか、若手研究者、学生、低所得国研究者はそれぞれ割引があるように設定し、若手研究者の参加を促すと共に、収入格差による参加国の偏りを是正する。また、例年通り公募シンポジウムの審査基準にシンポジストのジェンダーバランスの項目を設定し、発表者の性別の偏りを是正する。さらに、日本神経精神薬理学会では、長年 CINP 世界大会における若手発表支援を行っており、CINP2024 においても実施予定である。これらの取り組みにより、参加者の年齢・性別・出身国などにおいて多様性のある大会運営を目指す。

9 会議構成

(1) テーマ・主要題目

メインテーマは“New wave of Neuropsychopharmacology toward wellbeing”である。近年の科学技術の発展に伴い、精神疾患における臨床現場への応用を目指す取り組みは、世界各国、特にアジアにおいても盛んに行われるようになり、国際神経精神薬理学会の評議員にもアジアの研究者・臨床家が多く選出される状況となっている。この世界主要各国ならびにアジアの企業、研究・医療機関、規制当局に所属する専門家が本国際会議で一堂に会し、中枢神経薬の開発と適正使用に向けて、基礎研究・臨床研究の推進や産官学連携の枠組み作りについて議論する。

(2) 会議使用言語

英語

(3) 会議プロシーディングス

基本的に、電子媒体で準備する予定

(4) 展示内容

未定

10 代表連絡先

名称：CINP2024 準備委員会

委員会の設置(発足)年月日：2019年11月1日設置

主催(申請)学術研究団体との関係：CINPが2024年に主催する世界会議「CINP2024」の開催に向けた事前準備と推進を実行する委員会

代表者：委員長：池田 和隆 (イケダ カズタカ)

[東京都医学総合研究所 精神行動医学研究分野 分野長]

TEL：03-6834-2390／ FAX：03-6834-2390

[その他の委員]

・副委員長：橋本亮太 (ハシモト リョウタ)

【国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所
精神疾患病態研究部 部長】

・監事：山脇成人 (ヤマワキ シゲト)

【広島大学 国際アフェクトーム (感情) 研究センター 特任教授 (センター長)】

連絡代表責任者

第35回国際神経精神薬理学会世界大会組織委員会

事務局長：井手 聡一郎 (イデ ソウイチロウ) [東京都医学総合研究所・副参事研究員]

〒156-8506 東京都世田谷区上北沢 2-1-6

TEL：03-6834-2390／ FAX：03-6834-2390／ Mail：ide-si@igakuken.or.jp